

会員会社紹介

株式会社国際電気通信基礎技術研究所

事業開発室 担当部長 /
波動工学研究所 副所長
坂野 寿和



□ ATRの全体概要

株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）は、京都、大阪、奈良の府県境に近い関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）にあります。1986年の設立以来、先端的独創的研究の推進、高度な専門的人材の育成、けいはんな学研都市への寄与をミッションとして、広く情報通信に関わる研究開発と事業開発に取り組んでいます。

□ ATRの研究開発

最近の主な研究開発分野は、無線通信、脳情報科学、深層インタラクション科学（ロボット）、生命科学の4分野です。脳情報科学分野では、機能的MRI（functional magnetic resonance imaging）装置などを用いた脳内のメカニズムの解明と応用、AI（Artificial Intelligence）に関する基礎研究などを行っています。また、深層インタラクション科学分野では、アンドロイドによる対話ロボット技術や環境知能ロボットの研究などが行われています。

□ ATRの事業開発

ATRは、研究成果の事業化にも力を入れています。これまで、ATR-Promotions社（センサや音声データベースの開発販売、fMRI装置等を用いた脳科学研究支援など）、ATR-Trek社（音声認識／翻訳技術ベースのソリューション提供）、ATR Learning Technologies社（英語発音評価技術を用いたeLearningシステムの開発販売）といった関連会社やパートナー企業を通じた事業化実績を有します。これに加え、2015年に「けいはんなATRファンド」を創設し、ATRと親和性の高いベンチャーへの出資や共同開発を実施するなど事業開発機能の強化を図っています。これまでロボットやAI分野を中心に13社

のベンチャーへの出資や連携を行うなど事業開発の多様化を進めています。

□ 無線通信分野の取組み

ATRの主要研究分野である無線通信分野では、5Gの実証実験や電波の有効利用技術の研究、標準化など多様な活動を行っています。2019年度には総務省の電波COE研究開発プログラムを受託し、電波研究の人材育成に資する拠点形成に向けた取り組みを開始しました。これはATRと京都大学が連携して、先端的な産官学共同研究の推進、無線技術や標準化分野の有識者によるメンタリング機能および外部開放型研究環境の提供を通して、ATRを新たな電波利用技術や有為な人材が産み出される拠点にしようとする試みです。

□ 終わりに

ATRは、無線通信をはじめICT分野で研究開発と事業開発、更には拠点化を積極的に推進し、広く社会に貢献してまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



ATRの外観